

第4学年2組 道徳学習指導案

篠栗町立篠栗小学校

1 主題名及び資料名

主題名 「何よりも尊い命」 3-（1）「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする」

資料名 「人間愛の金メダル」（文溪堂）

2 主題設定の理由

| 内容項目の解釈 | 児童の実態 |
|--|--|
| <p>「生命」とは、生物が生きていく源となる力である。単なる身体的生命に限ることなく、人格としての価値をも含む。生命は、次の三つの視点で捉えることができる。①唯一無二かけがえのない「たった一つの生命」（唯一性）である。それは、命には限りがあるという生命の有限性をも含む。②人間は一人では生きていけない。様々な人々や自然や動物などとの関わりの中で生きる「支えられ生かされる生命」（関係性）である。③先祖から連綿として受け継ぎ、子孫へと命のバトンを渡すという「過去から未来へと受け継ぐ生命」（連続性）である。このような視点から生命の尊さを感じ、生命をもつ全てのものを大切にしていこうとする生命尊重の精神は、道徳教育の基盤となる。</p> <p>3-（1）に関しては、低学年において、生きることを喜び、生命を大切にすることを学ぶことができる。これを学んでいる。これを学んで、本主題では、生命は唯一無二のものであり、他のものと比べることができない何よりも尊いものであり、他の人の命も自分の生命と同じように大切にすることをとらえさせたい。これは、高学年における生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重することの学習へと発展する。</p> | <p>本学級の子どもたちは、命が大切であることは十分に分かっている。日常生活においても、自分の健康や安全に気をつけて生活していこうという意識はもっている。しかし、実際の生活場面において、自らのけがにつながる行動や友達と遊ぶ中で相手の危険につながる行動をとったり、時には相手を傷つけるような言動をとったりする場面も見られる。</p> <p>これは、命が大切だということは漠然と理解できているが、日常生活において、なぜ大切なのか感じる機会が少なく、生命が一つしかなく、なくなると元に戻らないという生命の尊さを実感できていないためだと考えられる。</p> <p>そこで、現実性をもって死を理解できるようになってくるこの期に、本主題を設定する。そして、命は一つしかないものであり、なくなると元に戻すことができないという、生命の尊さに気付かせ、他人の命も自分の命と同じように大切にしていこうとする心情を育て、実践への意欲を高めていきたい。</p> <p>このことは、生命尊重の本義を感得させるとともに、よりよい生き方を求め続け実践する子どもを育てる上で意義深い。</p> |

| 資料の含みもつ道徳的価値 |
|--|
| <p>本資料「人間愛の金メダル」は、1964年に開催された第18回オリンピック東京大会における実話である。ヨットレースに出場したオーストラリアチームの選手が海に投げ出された。それを見た主人公スウェーデンチームのキエル兄弟が、レースに勝つためにそのまま進むか、人命救助を第一として助けに戻るかの葛藤の末、金メダルへのレースを中断し、人命救助を優先させた上で、レースを完走するという内容である。</p> <p>本資料から、資料の感動場面とその理由について話し合うことにより、命はかけがえのないものであり、何よりも尊いものであるということを感じ、道徳的価値に迫ることができるものであると考える。</p> |

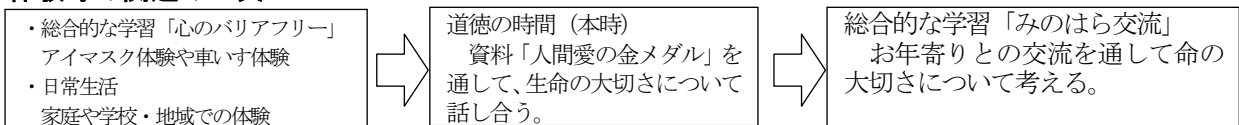
3 本時の目標

| |
|---|
| <p>(1) 命はたった一つしかなく、一度なくなると元に戻すことができないものであり、他のものと比べることができない何よりも尊いものであることが分かり、他の人の命も自分の生命と同じように大切にしようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 生命に関する事前アンケートからめあてを設定し、資料の感動場面とその理由についての話し合いを通して道徳的価値を見出し、保護者からの手紙を読んで、これまでの自分の生活経験における自分のよさを振り返ることにより、生命尊重の価値を感得できるようにする。</p> |
|---|













4 本時学習の工夫

| 「見つめる」段階における工夫 | 「推しはかる」段階における工夫 | 「見つめ直す」段階における工夫 |
|---|--|---|
| <p>「見つめる」段階では、「命の大切さ」について方向付けをするために、事前アンケートを提示し、「命を大切に感じた時」についての体験を振り返らせる。その際、命の危険を感じた場面や命の救助を行っている写真を併せて提示する。その後、「自分は命を大切にできているか。」という問いをもとに課題意識をもたせ、「命の大切さについて考えよう。」という本時のめあてをもつことができるようにする。</p> | <p>「推しはかる」段階では、読み物資料「人間愛の金メダル」を感動的に活用する。まず、資料を読み、事前書き込んだ考えをもとに感動した場面について話し合い、感動の意識化を図る。次に、感動した場面の理由をノートに書かせた後、交流を行い、感動の理由を交流し、感動の波及・深化を図る。そして、それぞれの場面の感動した理由をもとに、共通する大切な心について話し合うことを通して感動の持続化を図り、命は一つしかなく、なくなったら元には戻らない、何よりも大切なものであるという生命尊重の価値に気づかせたい。</p> | <p>「見つめ直す」段階では、保護者からの手紙を読むことで、自分の生活を振り返り、命の大切さについて実感させる。次に、「わたしたちの道徳」を用いて詩を紹介することで、意欲化を図る。</p> <p>最後に、自分の命と同じように他の人も大切な命があることを話し、道徳的価値の自覚を深めさせたい。</p> |

5 体験等の関連の工夫



6 本時の展開

| 段階 | 学習活動と内容 | 教師の支援 | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 見 つ め る | <p>1 事前アンケートの結果をもとに、これまでの体験を想起し、学習のめあてについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;"><命が大切だと感じたこと></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <自分が直接関わったこと> ・自分の病気やけが ・家族や友達の病気やけが(死) </td> <td style="width: 10%; font-size: 2em;">⇔</td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <見たり聞いたりしたこと> ・人がなくなったニュース ・災害救助のニュース </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">命は大切だと思いますか？</p> <p style="text-align: center;">あなたは大切にしていますか？</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【めあて】 命を大切にすることをめあてよう。</p> | <自分が直接関わったこと> ・自分の病気やけが ・家族や友達の病気やけが(死) | ⇔ | <見たり聞いたりしたこと> ・人がなくなったニュース ・災害救助のニュース | <p>○ 「命の大切さ」に方向付けをし、課題意識を高めて、めあてにつなげるために、「命は大切だと感じたこと」の事前アンケートと併せて写真を提示し、「あなたは、本当に大切にしている？」という問いを行う。</p> | | | | | |
| <自分が直接関わったこと> ・自分の病気やけが ・家族や友達の病気やけが(死) | ⇔ | <見たり聞いたりしたこと> ・人がなくなったニュース ・災害救助のニュース | | | | | | | | |
| 推 し は か る | <p>2 資料「人間愛の金メダル」をもとに命の大切さについて話し合う。</p> <p>(1) 資料の状況について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、ヨットレース。 ・レースの途中、ライバルチームの選手がヨットから落ち、命が危ない。 ・勝敗より命を選んだ。 <p>(2) 資料を読み、感動した場面について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助けようと決めた場面 ・助けている場面 ・最後までレースを続けた場面 ・「人間愛の金メダル」の場面 <p>(3) 感動した理由について話し合う。</p> | <p>○ 場面の状況把握を簡潔に行うために構造図やさし絵を使う。</p> <p>○ 感動の意識化を図るために、事前に資料を読ませ、感動したところに線を引かせておき、それをもとに交流させる。</p> <p>○ 感動した理由を明確にするために、感動した場面とその理由を道徳ノートに書かせた後、交流させる。</p> | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;"> 1 助けようと決めた場面  </td> <td style="width: 25%;"> 2 助けている場面  </td> <td style="width: 25%;"> 3 最後までレースを続けた場面  </td> <td style="width: 25%;"> 4 「人間愛の金メダル」の場面  </td> </tr> <tr> <td> ・レースよりも助けることを選んだ。(命の大切さ) ・自分達が優勝できなくなるのに助けることにした。(レースより命) </td> <td> ・命を助けるために一生懸命助けるためにがんばった。(命の大切さ) ・兄弟で力を合わせて助けた。(助けるために協力) </td> <td> ・優勝はできないことが分かっているのに走り続けた。 ・レースを大事に思っている。(レースの大切さ) </td> <td> ・自分達が助けたのに、助けるのは当たり前と思っている。(命の大切さ) ・レースよりも命を大切に思っている。(レースより命) </td> </tr> </table> | 1 助けようと決めた場面  | 2 助けている場面  | 3 最後までレースを続けた場面  | 4 「人間愛の金メダル」の場面  | ・レースよりも助けることを選んだ。(命の大切さ) ・自分達が優勝できなくなるのに助けることにした。(レースより命) | ・命を助けるために一生懸命助けるためにがんばった。(命の大切さ) ・兄弟で力を合わせて助けた。(助けるために協力) | ・優勝はできないことが分かっているのに走り続けた。 ・レースを大事に思っている。(レースの大切さ) | ・自分達が助けたのに、助けるのは当たり前と思っている。(命の大切さ) ・レースよりも命を大切に思っている。(レースより命) | |
| 1 助けようと決めた場面  | 2 助けている場面  | 3 最後までレースを続けた場面  | 4 「人間愛の金メダル」の場面  | | | | | | | |
| ・レースよりも助けることを選んだ。(命の大切さ) ・自分達が優勝できなくなるのに助けることにした。(レースより命) | ・命を助けるために一生懸命助けるためにがんばった。(命の大切さ) ・兄弟で力を合わせて助けた。(助けるために協力) | ・優勝はできないことが分かっているのに走り続けた。 ・レースを大事に思っている。(レースの大切さ) | ・自分達が助けたのに、助けるのは当たり前と思っている。(命の大切さ) ・レースよりも命を大切に思っている。(レースより命) | | | | | | | |
| 見 つ め 直 す | <p>(4) 感動の理由を整理し、まとめる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 2px solid black; padding: 5px;">何よりも大切な命</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(命)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> </tr> <tr> <td style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たった一つの命</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もどらない命</div> </td> </tr> </table> </div> <p>3 自分たちの生活をふり振り返り、自分自身の命が大切にされていることについて話し合う。</p> <p>(1) 保護者からの手紙を読む</p> <p>(2) 詩を読む</p> | 何よりも大切な命 | ↑ | (命) | ↑ | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たった一つの命</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もどらない命</div> | <p>○ 生命・尊重の価値の自覚を深めるために、以下の問いを行い、少人数から全体交流へと広げていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> この3つの場面(①②④)に共通する心は何だと思いますか。 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> なぜ命は何よりも大切だと思いますか。 </div> <p>○ 価値の主體的自覚を図り、実践の意欲を高めるために、命の大切さについて書かれた保護者からの手紙を読ませる。</p> <p>○ 「わたしたちの道徳」の詩を紹介する。</p> | | | |
| 何よりも大切な命 | | | | | | | | | | |
| ↑ | | | | | | | | | | |
| (命) | | | | | | | | | | |
| ↑ | | | | | | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たった一つの命</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もどらない命</div> | | | | | | | | | | |

